

鳥類 Birds

平田寛重¹⁾・山口喜盛²⁾

Hiroshige Hirata & Yoshimori Yamaguchi

要約

- 2004年から2006年まで、丹沢山地において鳥類調査を行った。今回の調査は、調査対象種を絞ったために広範囲な調査活動は行わずに調査記録種と文献、神奈川県自然環境保全センターの傷病鳥記録、および、筆者らの観察記録をもとにこの目録を作成した。
- 今回は、前回の1997年の調査と異なり、丹沢山地を含む市町村域を対象地域としたので水辺及び平地・市街地に生息する鳥類もリストにくわえた。但し、津久井町（現相模原市津久井町）・愛川町・厚木市を流れる相模川は、対象域から除くことにした。
- 今回の野外調査及び文献調査の結果、家禽3種を含む49科247種の鳥類の生息を確認することができた。うち、逸出種は、7科15種1亜種、現在までに繁殖が確認されている種は36科99種であった。前回の1997年の調査時と比較し、新知見として挙げられることは、宮ヶ瀬湖におけるミミカイツブリの初記録（青木・藤井, 2005）、カワウの増加、宮ヶ瀬湖におけるカワウの繁殖（青木・藤井, 2005）、サンバの厚木市での繁殖（神奈川県野生生物研究会, 2000）、宮ヶ瀬湖におけるコチョウゲンボウの初記録（青木・藤井, 2005）、檜洞丸周辺のセグロカッコウの初記録（山口ほか, 2006）などである。
- 崩壊地や立ち枯れの進行によりその環境を好むビンズイの生息域の拡大、過密化したシカの採食圧による下層植生の衰退によりコマドリやコルリなどの減少が見られた。
- 重要な種としては、環境省レッドリストで絶滅危惧I B類に挙げられているクマタカは、この10年、毎年どこかの巣で繁殖はしているものの生息環境を脅かす要素が多々あり、必ずしも安定している状況とは言えない。オオアカゲラは前回の調査でも少なかったが、今回はさらに減少し、大木の残るブナ林に極めて少数が生息していることがわかった。
- 生物地理学的に興味深い種としては、繁殖の南限にあたるクロジが挙げられる。クロジは、10カ所前後で安定したオスの囀りが聞かれ、繁殖の可能性が高いと考えられる。前回の1997年の調査時に比べると繁殖個体数は、ほぼ同じ状況であるが、場所によっては、生息が継続して確認されないところもあった。
- 飼鳥が野生化した種として、前回、その動向を危惧していたガビチョウおよびソウシチョウであるが、ソウシチョウは山間で、ガビチョウは全域において短期間による分布の拡大が見られた。繁殖も継続的に行われようになってきている。どちらも特定外来生物に指定されている。
- 今回の調査で観察機会が増加している種について触れておく。河川を遡上して生息域を拡大している種は、カワウ、アオサギ、ミサゴ、ユリカモメ、ハクセキレイ、インヒヨドリなどが挙げられる。冬期、主に若鳥が生息域を拡大し、その後、繁殖期の観察機会が増加し、繁殖につながっていく。また、チョウゲンボウなども冬期において若鳥が分布を広げ、山麓および山間へ進出していく可能性が考えられる。
- 観察機会が減少している種については、コノハズク、ヨタカ、クロツグミ、コガラ、ゴジュウカラなどが挙げられる。いずれも稜線のブナ林や二次林の衰退により、生息環境が悪化しているためと考えられる。シカの過密化やブナ林の立ち枯れの影響は深刻化を増している。

凡例

- 配列及び和名、学名は、日本鳥類目録改定第6版（日本鳥学会, 2000）によった。しかし、掲載されていない一部の種については、世界鳥類和名辞典（山階, 1986）によった。なお、学名の後の〔〕内に山階（1986）の種番号を示した。
- データの記載は、主に1997年以降に新たに観察された種及び、調査対象域を広げて確認された種を対象とした。
- 観察記録の記載の順は、観察内容・観察場所・観察日・観察者とした。また、未発表記録については、観察者名の後に未発表と但し書きをした。
- 文献については、便宜上、日本野鳥の会神奈川支部発行の「神奈川の鳥1977-1986」、「神奈川の鳥1986-1991」、「神奈川の鳥1991-1996」、「20世紀神奈川の鳥」は、それぞれ「目録I」、「目録II」、「目録III」、「目録IV」として使用している。
- 繁殖記録については、過去の記録も含め、該当する種には、種名の前にBの印をつけた。ほとんどが文献記録であるためデータの掲載は行わなかった。
- 野生化または、逸出した飼鳥は、種名の前に*の印をつけた。

- 情報を提供していただいた川手隆生、太田仁、齊藤範子、佐々木祥仁、白鳥勝洋、竹内裕、田倉弘明、長縄今日子、中村道也、二ノ宮秀樹、土方秀行、頼ウメ子の各氏に御礼申し上げます。また、今回、神奈川県立自然環境保全センターからは、傷病鳥のデータを提供していただき、感謝している。この場をお借りして御礼申し上げます。なお、本文では、自然環境保全センター傷病鳥記録として引用している。

カイツブリ科 Podicipedidae

B カイツブリ *Tachybaptus ruficollis* (Pallas) [184]

山間域の丹沢湖と宮ヶ瀬湖では冬期に少数が観察される。宮ヶ瀬湖では、1997.8.7に雛の観察例がある（目録IV）。山麓では、留鳥として河川や池等の水辺に生息し繁殖する（山口, 1995）。

ミミカイツブリ *Podiceps auritus* (Linnaeus) [193]

宮ヶ瀬湖で1998.11.15に1羽が一月余り観察された（青木・藤井, 2005）。県内では、冬鳥として渡来するが少なく、主に海岸で記録される。山間では、観察機会は稀である。

カムリカイツブリ *Podiceps cristatus* (Linnaeus) [195]

宮ヶ瀬湖で2例（目録IV）、丹沢湖で2例（目録II；山口喜盛）の観察記録がある。県内では、冬鳥として海岸や河川等の水辺に渡来するが、山間での観察例は稀である。芦ノ湖や相模湖・津

1) 日本野鳥の会神奈川支部 2) 県立丹沢湖ビジターセンター

久井湖でも若干の観察例がある(目録Ⅲ;目録Ⅳ)。

ミズナギドリ科 Procellariiformes

シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca* (Salvin) [98]

迷鳥として台風等の後に記録される。秦野市北秦野 1982.9.13(目録Ⅰ)で左翼骨折の個体を保護。前日の台風18号の影響と思われる。

オオミズナギドリ *Calonectris leucomelas* (Temminck) [120]

迷鳥として台風等の後に記録される。厚木市旭町・山北町山北(自然環境保全センター傷病鳥記録)、伊勢原市高森(平田,1994)、秦野市桜町(目録Ⅰ)でそれぞれ落鳥個体を保護する。

ハシボソミズナギドリ *Puffinus tenuirostris* (Temminck) [127]

迷鳥として台風等の後に記録される。伊勢原市東大竹・板戸、厚木市元町・三田・岡田(自然環境保全センター傷病鳥記録)で落鳥個体を保護する。

ウミツバメ科 Hydrobatidae

クロコシジロウミツバメ *Oceanodroma castro* (Harcourt) [144]

迷鳥として台風等の後に記録される。伊勢原市上粕屋(目録Ⅰ)、厚木市毛利台 1980.4.26(自然環境保全センター傷病鳥記録)で落鳥個体を保護する。この個体は標本として自然環境保全センターに保管されている。

コシジロウミツバメ *Oceanodroma leucorhoa* (Vieillot) [146]

迷鳥として台風等の後に記録される。伊勢原市高森(中村ほか,1983)で落鳥個体を保護する。

オーストンウミツバメ *Oceanodroma tristrami* Salvin [149]

迷鳥として台風等の後に記録される。伊勢原市栗窪(目録Ⅱ)で落鳥個体を保護する。本個体は、死亡後神奈川県立生命の星地球博物館に標本として収蔵されている。

ハイロウウミツバメ *Oceanodroma furcata* (Gmelin) [154]

迷鳥として台風等の後に記録される。2002.1.22伊勢原市東成瀬(自然環境保全センター,2003)で落鳥個体を保護する。

ウ科 Phalacrocoracidae

Bカワウ *Phalacrocorax carbo* (Linnaeus) [209]

丹沢湖では1985.11.30から記録されているが(山口,1991)、宮ヶ瀬湖では1996.6.21に初めて記録され、1998年に初めて抱卵が確認されたが増水のため巣が水没し失敗したが(青木・藤井,2005)。2000年には繁殖に成功した(目録Ⅳ)。2004年には69巣を確認している(青木・藤井,2005)。それ以外では、2000.5.14に蓑毛から春岳沢上空を飛翔する個体(佐々木仁氏私信)や高松山尺里峠では群れの飛翔を観察している(山口喜盛)。山麓部の河川では、1995.4.2に愛川町八菅中津川で80羽が記録され(竹内,2005)、その後、増加の傾向を示し、普通に見られるようになってきている。県内では、以前は冬鳥として渡来し、数も観察機会も少なかったが、最近では、一部の山地を除く全域に留鳥として分布が拡大している。

サギ科 Ardeidae

アオサギ *Ardea cinerea* Linnaeus [257]

丹沢湖では1986.10.12(山口,1991)、宮ヶ瀬湖では1996.8.20(青木・藤井,2005)に始めて観察され、その後、数は増え、一年を通してみることが出来る。山間部では、2000.11.12世附林道で記録され(目録Ⅳ)、札掛では養魚場の魚を捕りに来る個体が観察されている(中村道也氏私信)。山麓部では、1983.12.8厚木市七沢(飯村ほか,1986)で幼鳥1羽の記録が初記録と思われる。今後は山間での、繁殖の可能性が大きくなっている。県内では、以前は冬鳥として渡来していたが、最近では、ほぼ全域に留鳥として生息域を拡大している。

ムラサキサギ *Ardea purpurea* Linnaeus [266]

迷鳥として、秦野市今泉で1981年から82年にかけて幼鳥1羽が渡来した(矢田,1982)。

Bダイサギ *Egretta alba* (Linnaeus) [267]

冬期になると亜種のオオダイサギが渡来する。丹沢湖(2006.3.10山口喜盛)や河内川(2006.11.19山口喜盛)では少数が観察され、1998.6.24宮ヶ瀬湖(青木・藤井,2005)でも記録されている。山麓の伊勢原で繁殖記録がある(目録Ⅲ)。県内では留鳥として

生息している。

チュウサギ *Egretta intermedia* (Wagler) [273]

山麓周辺の愛川町、厚木市、伊勢原市、秦野市、山北町の水田地帯で記録されている(目録Ⅱ;Ⅳ)。県内では夏鳥として渡来するが、一部は越冬し、山間域での記録はない。

Bアマサギ *Egretta ibis* (Linnaeus) [274]

丹沢湖では、2000.5.6玄倉(目録Ⅳ)で春に観察されているが稀である。宮ヶ瀬湖で1997年に初めて記録された(青木・藤井,2005)。山麓では川や水田で記録されている。伊勢原市では、繁殖が記録されている(目録Ⅲ)。県内では、夏鳥として渡来するが、一部が越冬する。

Bコサギ *Egretta garzetta* (Linnaeus) [278]

丹沢湖周辺では、1988.10.14玄倉川(目録Ⅱ)等の記録があるが少ない。山間での記録はほとんどなく1979.1.6清川村唐沢川(目録Ⅰ)の1例のみ。山麓の河川では一年を通してみることが出来る。伊勢原市では繁殖が確認されている(平田,1994)。

Bササゴイ *Butorides striatus* (Linnaeus) [289]

丹沢湖付近での記録はなく、宮ヶ瀬湖では1997.8.7に初めて記録され、その後少数が飛来していたが、2000年以降は記録されていない(青木・藤井,2005)。県内には、夏鳥として水辺に渡来するが山間部での渡来は稀である。山麓では全域で記録されているが少ない。厚木市で繁殖が確認されている(目録Ⅳ)。

Bゴイサギ *Nycticorax nycticorax* (Linnaeus) [292]

留鳥として山麓から山間の水辺で観察される。早戸川や札掛などの養魚場では、夜間、採食に渡来する個体がいる。宮ヶ瀬湖では、1997年に最大208羽が観察されたことがあったが、現在は減少している(青木・藤井,2005)。丹沢湖では夜間、上空から鳴き声が聞かれる。山間での繁殖は確認されていないが、山麓の伊勢原市で繁殖が確認されている(平田,1994)。

Bミゾゴイ *Gorsachius goisagi* (Temminck) [296]

夏鳥として、沢沿いの暗い林に渡来するが、極めて稀である。山間および山麓で記録がある。4,5月の時期に堂平・世付・煤ヶ谷(目録Ⅳ)などで記録されており、2001.7.16秦野市で雛が保護されている(自然環境保全センター,2002)。

ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis* (Gmelin) [308]

山間での記録はなく、山麓でも観察機会は少ない。厚木市と伊勢原市の小河川で数例が記録(目録Ⅰ;目録Ⅱ)されているに過ぎない。県内では、夏鳥または、通過鳥として、ヨシ原や水田等の湿地で記録される。

オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus* (Swinhoe) [309]

過去に2例あり、1987年に伊勢原市西富岡の水田で防鳥網にかけ死んでいた個体(目録Ⅱ)と1992.9.22秦野市南矢名で保護された個体(自然環境保全センター傷病鳥データ)となっている。県内では、通過鳥として渡り途中の個体が観察されているが、非常に稀である。伊勢原市の個体は標本として平塚市博物館に保管されている。

カモ科 Anatidae

B*シジュウカラガン(大型亜種) *Branta canadensis* (Linnaeus) [681]

丹沢湖では、由来は不明だが、いわゆる籠抜けが繁殖し、生息し続けている。過去に繁殖していたものの、近年は繁殖が確認されていなかった。今回の調査で、2005.5.5丹沢湖ビジターセンター前で雛3羽を連れた番が観察された。雛はその後1羽しか確認されなくなった。2006.3.10山北町玄倉で、この雛を含む7羽が観察された。宮ヶ瀬湖でも、2000.5.14に初めて観察されたが(宮ヶ瀬ビジターセンター,2001)、定着していない。北米に生息する大型亜種とみられている。カナダガンの別名もある。

B*バリケン

中南米原産のノバリケン *Cairina moschata* (Linnaeus)を家禽化したもので、野外へ逸出した個体が観察されている。黒色タイプと白色タイプそれぞれが観察されている。秦野市・伊勢原市(目録Ⅱ;目録Ⅳ)、厚木(自然環境保全センター傷病鳥記録)で記録され、伊勢原市では雛連れも観察されている(目録Ⅳ)。

オンドリ *Aix galericulata* (Linnaeus) [715]

冬鳥として、1970年代は清川村から札掛にかけての布川沿いでよく観察されていたが、現在では、見られなくなった。しかし、丹

沢湖や宮ヶ瀬湖でかなりの数が越冬するようになったが、数は年によって変動がある。宮ヶ瀬湖では貯水を開始した翌年の1996年から渡来するようになった(山口, 1997)。夏季も少数が観察されているが、繁殖は確認されていない。

ヒドリガモ *Anas penelope* Linnaeus [721]

冬鳥として、丹沢湖や宮ヶ瀬湖で時々観察される。山麓部の調整池等で稀に観察される。

アメリカヒドリ *Anas americana* Gmelin [722]

極めて稀な冬鳥として丹沢湖で2例1987.11.27(山口, 1991)、1992.11.16(目録Ⅲ)記録されている。

ヨシガモ *Anas falcata* Georgi [724]

冬鳥として、丹沢湖や宮ヶ瀬湖に渡来するが、非常に稀である。

オカヨシガモ *Anas strepera* Linnaeus [725]

冬鳥として、丹沢湖や宮ヶ瀬湖に渡来するが非常に稀である。秦野市大根公園でペアが観察されている(2006.12.2 平田寛重)。

トモエガモ *Anas formosa* Georgi [726]

冬鳥として、丹沢湖や宮ヶ瀬湖に渡来するが、非常に稀である。

コガモ *Anas crecca* Linnaeus [727]

冬鳥として、山間の河川や丹沢湖、宮ヶ瀬湖等に渡来する。以前は、布川流域でも観察されたが、現在では、観察例が報告されていない。

マガモ *Anas platyrhynchos* Linnaeus [734]

冬鳥として丹沢湖や宮ヶ瀬湖に渡来する。宮ヶ瀬湖では貯水を開始した1995年の秋には渡来を確認した(山口, 1997)。夏期にも観察例はあるが繁殖は確認されていない。

***アヒル**

マガモを家禽化したもので、野外へ逸出し、観察されている。伊勢原市串橋(1994.5.19 平田寛重)、厚木市・秦野市(目録Ⅳ)、丹沢湖などで記録されている。

Bカルガモ *Anas poecilorhyncha* Forster [738]

留鳥として丹沢湖周辺や宮ヶ瀬湖、山麓の河川や遊水池等で観察されている。宮ヶ瀬(青木・藤井, 2005)、愛川町・厚木市・伊勢原市(目録Ⅲ; Ⅳ)などで繁殖が確認されている。

オナガガモ *Anas acuta* Linnaeus [744]

秋冬期、丹沢湖(山口, 1991; 目録Ⅲ)や宮ヶ瀬湖(青木・藤井, 2005)に渡来するが、少ない。山麓では、厚木市・伊勢原市・秦野市・山北町(目録Ⅲ; 目録Ⅳ)で観察されている。

シマアジ *Anas querquedula* Linnaeus [750]

山麓の伊勢原市・厚木市・秦野市(目録Ⅲ; 目録Ⅳ)の休耕田や河川で秋に観察されている程度である。県内では、春秋の渡りの時期に河川や休耕田などで観察されているが少ない。

ハシビロガモ *Anas clypeata* Linnaeus [756]

冬鳥として、丹沢湖(目録Ⅳ)や宮ヶ瀬湖(青木・藤井, 2005)に渡来するが少ない。山麓の秦野(目録Ⅲ)でも遊水池や河川で記録されている。

ホシハジロ *Aythya ferina* (Linnaeus) [764]

冬鳥として、丹沢湖や宮ヶ瀬湖に渡来するが少ない。山麓の伊勢原市下糟屋(2001.11.23 平田寛重)、厚木市・秦野市(目録Ⅲ; 目録Ⅳ)でも遊水池や小河川等で観察されている。

クビワキンクロ *Aythya collaris* (Donovan) [766]

2001.11.11 丹沢湖で観察された♀1羽(日本野鳥の会神奈川支部目録編集委員会, 2001)が県内での初記録となる。丹沢山地では、唯一の記録である。

キンクロハジロ *Aythya fuligula* (Linnaeus) [772]

冬鳥として丹沢湖や宮ヶ瀬湖で見られる(目録Ⅳ)。秦野市の震生湖でも観察されている(目録Ⅳ)。伊勢原市でも落鳥記録(自然環境保全センター傷病鳥記録)がある。

スズガモ *Aythya marila* (Linnaeus) [773]

10月から11月にかけて宮ヶ瀬湖(青木・藤井, 2005)、丹沢湖(目録Ⅳ)で1例ずつが記録されているに過ぎない。山麓では、秦野市大根川で観察されている(1993.10.4 平田寛重)。県内には、沿岸部に冬鳥として渡来する。

シノリガモ *Histrionicus histrionicus* (Linnaeus) [780]

1998.1.7 山北町大口酒匂川での♀(頼ほか, 2001)1例のみが記録されている。県内では、稀な冬鳥として沿岸部で観察されることがある。

ホオジロガモ *Bucephala clangula* (Linnaeus) [785]

丹沢湖に冬期渡来したことがあるが、宮ヶ瀬湖では記録されてい

ない。山麓では、愛川町(竹内, 2005)で観察されている。

ミコアイサ *Mergus albellus* Linnaeus [788]

丹沢湖で記録されているが(山口, 1991)、非常に稀である。県内では、冬鳥として、河川や池で観察されているが少ない。

ウミアイサ *Mergus serrator* Linnaeus [791]

春の渡りの時期に丹沢湖で記録されているが(山口, 1991)、非常に稀である。県内では、冬鳥として沿岸部で観察されるが非常に少ない。

カワアイサ *Mergus merganser* Linnaeus [793]

冬鳥として、丹沢湖とその下流では稀に記録され(山口喜盛)、宮ヶ瀬湖では、1997.10.29の1例のみ(青木・藤井, 2005)である。

タカ科 Accipitridae

ミサゴ *Pandion haliaetus* (Linnaeus) [376]

以前は、冬期、海岸や河口近くの大きな河川で稀に見られていたが、近年では、河川沿いを遡上し、山間域でも観察されるようになってきている。本谷川(山口, 1991)、札掛、塔ノ岳、丹沢湖などで稀に記録されている(目録Ⅱ; Ⅲ; Ⅳ)。宮ヶ瀬湖では、観察例が増加しており、冬期には、2004.1.22に最大5羽、繁殖期にも2004.5.28の♀2羽1羽が記録(青木・藤井, 2005)されている。繁殖期の記録は増加しており、今後、繁殖の可能性もでてきている。

ハチクマ *Pernis apivorus* (Linnaeus) [387]

全域に渡って、夏鳥として、渡来または通過する。丹沢山地では確実な繁殖記録は報告されていない。宮ヶ瀬では、本種のものと思われる古巣が観察されているが詳細は不明である(青木・藤井, 2005)。1998年には、5月から7月にかけて伊勢原市で継続的に観察されている(佐藤, 2000)。ほかに、厚木市で1998.5.28ディスプレイを観察、2006.5.22 津久井町と1997.6.24 厚木市ではペアが確認され、1998.8.23 秦野市でも確認されている(川手隆生氏私信)。繁殖期の観察記録は増加傾向にある。山麓の厚木市、秦野市では渡りの時期に観察されている(目録Ⅲ)。

Bトビ *Milvus migrans* (Boddaert) [406]

丹沢山地全域に留鳥として生息する。丹沢湖や宮ヶ瀬湖周辺では多い。秦野市戸川(2001.3.12 山口喜盛)、山北町中川(山口, 1991)、厚木市(目録Ⅲ)で繁殖記録がある。

オオワシ *Haliaeetus pelagicus* (Pallas) [416]

山麓の伊勢原市で1959年12月に誤射された1羽のみが知られている(諏訪, 1960)。県内では、稀な冬鳥として海沿いなどで記録されている。

ハイロチュウウヒ *Circus cyaneus* (Linnaeus) [446]

1997.11.15 山北町大口酒匂川付近(頼ほか, 2002)と、♀タイプ1羽2001.10.20・24 愛川町角田の角田大橋付近の中津川を下流から上流に向かって飛ぶ(土方秀行氏私信)の2例がある。県内では、稀な冬鳥として渡来する。

Bツミ *Accipiter gularis* (Temminck & Schlegel) [486]

丹沢山地全体にわたって留鳥として生息するが少ない。札掛(山口, 1991)、秦野市の市街地(目録Ⅲ)、津久井町(2004.5 佐々木祥仁氏私信)、松田町(2005.2 宮秀樹氏私信)などで繁殖が確認されている。津久井・愛川・清川・厚木・伊勢原でも記録されている(自然環境保全センター傷病鳥記録)。県内では、夏鳥、一部は留鳥として市街地から山地にかけて生息する。

ハイタカ *Accipiter nisus* (Linnaeus) [495]

丹沢山地全体にわたって留鳥として生息するが、冬期の記録が多い。数は少ないものと思われる。厚木市と山北町では6月に確認されているが(川手隆生氏私信)、繁殖は確認されていない。

Bオオタカ *Accipiter gentilis* (Linnaeus) [503]

留鳥として丹沢山地周辺部の林に生息し、繁殖もしている。厚木市(山口, 1995)、秦野市(吉田, 1999)、伊勢原市・清川村・山北町(川手隆生氏私信)、津久井町(田倉弘明氏私信)で繁殖が確認されている。

Bサンバ *Butastur indicus* (Gmelin) [512]

夏鳥として山麓の谷戸田等の環境に渡来するが極めて少ない。1996.7.12 厚木市で雛3羽の繁殖が記録されている(葉山, 2000)。伊勢原市や津久井町で繁殖期に観察されている(川手隆生氏私信)。春・秋の渡りの時期には、丹沢山地及び山麓を通過する個体もいるが詳しくは調べられていない。

Bノスリ *Buteo buteo* (Linnaeus) [550]

留鳥として山麓を中心に生息しているが、冬期の観察例が多い。山北町では、過去3例の繁殖記録があり、計8羽の雛が確認されている(目録Ⅲ; 山口, 1991)。2002年には、秦野市周辺地域で雛3羽が繁殖した(吉田, 2003)。ほかには1999年清川村, 2003, 2004, 2006年伊勢原市などで繁殖記録がある(川手隆生氏私信)。最近では、山麓部において繁殖期の観察例が増加している。

ケアシノスリ *Buteo lagopus* (Pontoppidan) [556]

秦野市三廻部で2001.12.25に保護されたのが、県内で初めて確実な記録である(伊藤ほか, 2002)。県内では、稀な冬鳥として記録されている。

イヌワシ *Aquila chrysaetos* (Linnaeus) [570]

迷鳥として、10月から3月にかけて犬越路(平田・山口, 1997)、大石山(白鳥勝洋氏私信)、札掛(水谷, 1972)、伊勢原・清川村(目録Ⅱ)、大野山(頼ほか, 2002)、丹沢湖(目録Ⅲ)、仏果山(青木・藤井, 2005)などで記録されているが、ほとんどが若鳥である。

Bクマタカ *Spizaetus nipalensis* (Hodgson) [583]

丹沢山地全域で観察されている。21ペア程度の生息が推定されている。繁殖については、毎年、どこかで確認されているが、安定はしていない。

ハヤブサ科 Falconidae

Bチョウゲンボウ *Falco tinnunculus* Linnaeus [618]

丹沢では冬鳥として稀に観察されていた。1970年11月清川村宮ヶ瀬布川付近で記録されているのが最初の記録である(明大野鳥研, 1971)。山間では、ほかに1979年に清川村唐沢付近で1例(目録Ⅰ)記録されているだけである。最近では、山麓で留鳥化が進んでいる。宮ヶ瀬では、貯水池内が伐採されてからは留鳥化し、1996年には、ダム本体付近で餌運びをしている様子が観察されている(青木・藤井, 2005)。また、厚木(山口, 1995)や山北町の東名高速道路の橋でも繁殖記録がある(自然環境保全センター傷病鳥記録)。

コチョウゲンボウ *Falco columbarius* Linnaeus [635]

丹沢山域では、稀な冬鳥として渡来する。山間では、相模原市津久井町青山山山付付近で観察された1例がある(青木・藤井, 2005)。山麓の厚木市でも記録されている(目録Ⅲ)。

チゴハヤブサ *Falco subbuteo* Linnaeus [637]

山間では大山のモミ林で秋の記録がある(平田, 1994)。山麓の宮ヶ瀬湖周辺(青木・藤井, 2005)や秦野市・山北町(目録Ⅱ; Ⅲ)などで秋の渡りの時期に観察されているが少ない。

Bハヤブサ *Falco peregrinus* Tunstall [650]

主に冬期、稀に観察される。津久井町・清川村(川手隆生氏私信)、宮ヶ瀬湖(青木・藤井, 2005)、愛川町(竹内, 2005)、厚木市・伊勢原市・丹沢湖(目録Ⅱ; Ⅲ)などで記録されている。西丹沢では繁殖が確認されている(毎日新聞2006.5.10掲載)

キジ科 Phasianidae

*コリンウズラ *Colinus virginianus* (Linnaeus) [889]

北米原産の鳥で狩猟犬の訓練用に放鳥された個体等が野外で見られている。松田町寄(山口, 1992)や厚木市(目録Ⅲ)、伊勢原市(自然環境保全センター傷病鳥記録)で記録されている。

ウズラ *Coturnix japonica* Temminck & Schlegel [978]

過去に秦野市(多田・相原, 1985)、厚木市(目録Ⅳ)で記録されている。県内には、冬鳥として河原などの草原環境に渡来するが、野生か逸出かの判断が難しい。

B*コジュケイ *Bambusicola thoracica* (Temminck) [1013]

留鳥として中腹以下に生息し、繁殖も記録されている(平田・山口, 1997)。中国原産の鳥で、狩猟用に放鳥されたものが分布している。

*ニワトリ [1028]

セキショクヤケイ *Gallus gallus* (Linnaeus) を家禽化したものと言われている。林道等で見かけることが稀にある。逸出または、人為的な放鳥と思われる。過去に伊勢原市・秦野市・清川村(目録Ⅲ; 目録Ⅳ)などで記録がある。

Bヤマドリ *Syrnaticus soemmerringi* (Temminck) [1049]

留鳥として全域に生息するが、個体数は少ない。繁殖も確認されている(平田・山口, 1997)。狩猟のために毎年放鳥が行われているが、他地域の個体であるため地理的変異による遺伝子の攪乱

が心配される。

Bキジ *Phasianus colchicus* Linnaeus [1052]

留鳥として山麓の低木林や草地に生息し、繁殖も記録されている(平田・山口, 1997)。狩猟のための放鳥が行われている。

*亜種コウライキジ *Phasianus colchicus karpowi* Buturlin

朝鮮半島原産で家禽として輸入されたものが逸出し、野外で観察されている。山麓の伊勢原(目録Ⅳ)で過去に記録された。

クイナ科 Rallidae

クイナ *Rallus aquaticus* Linnaeus [1147]

冬鳥として水辺や湿地に渡来するが、山間では記録されていない。山麓の清川村煤ヶ谷、愛川町、厚木市、伊勢原市、秦野市(目録Ⅱ; 目録Ⅲ; 目録Ⅳ)、山北町(頼ほか, 2002)で観察されている。

ヒメクイナ *Porzana pusilla* (Pallas) [1206]

山麓の厚木市で1990.9.24(目録Ⅲ)に記録されている。県内では、極めて稀な通過鳥として記録されている。

Bヒクイナ *Porzana fusca* (Linnaeus) [1210]

山麓の愛川町、厚木市、秦野市(目録Ⅰ; 目録Ⅱ)伊勢原市(吉井, 1978)、で過去に記録されている。愛川町では、繁殖が記録されていた(竹内, 2005)。県内では、夏鳥として渡来していたが、今では、極めて稀な種になってしまった。

ツルクイナ *Gallinix cinerea* (Gmelin) [1217]

山麓の厚木市山際・船子で(目録Ⅱ; 自然環境保全センター傷病鳥記録)記録されているだけである。県内では、通過鳥または、冬鳥として渡来するが、稀である。秋の渡りの時期に記録されている例がほとんどである。

Bバン *Gallinula chloropus* (Linnaeus) [1224]

宮ヶ瀬(青木・藤井, 2005)で記録されているほかは、山麓の愛川町・伊勢原市・秦野市(目録Ⅳ)で記録されている。厚木市で繁殖が記録されている(山口, 1995)。県内では、留鳥として生息している。

オオバン *Fulica atra* Linnaeus [1240]

通過鳥または冬鳥として宮ヶ瀬湖(青木・藤井, 2005)と、稀に丹沢湖(2006.11.8 斉藤範子氏私信)に渡来する。山麓部の愛川町(竹内, 2005)、秦野市大根公園(2003.12.8 平田寛重)でも冬期に観察されている。県内においても越冬例が増加している種である。

レンカク科 Jacanidae

レンカク *Hydrophasianus chirurgus* (Scopoli) [1277]

山麓の厚木市で1997.10.20に1例が記録されている(葉山・荻原, 1998)。県内では、非常に稀な通過鳥として渡来例がある。

タマシギ科 Rostratulidae

Bタマシギ *Rostratula benghalensis* (Linnaeus) [1281]

山麓の愛川町、厚木市、伊勢原市、秦野市で観察され、一部では、繁殖もしている(目録Ⅳ)。県内では、留鳥として湿地に生息する。

チドリ科 Charadriidae

タゲリ *Vanellus vanellus* (Linnaeus) [1330]

県内には、冬鳥として、湿地や水田に渡来する。丹沢では、山麓部の秦野市、伊勢原市、厚木市(目録Ⅲ; 目録Ⅳ)、愛川町(竹内, 2005)で記録されている。

ケリ *Vanellus cinereus* (Blyth) [1349]

山麓部の秦野市(多田・相原, 1985)、伊勢原市(平田, 1994)、厚木市(目録Ⅲ)、愛川町(竹内, 2005)で記録されている。県内には、一部留鳥、通過鳥、冬鳥として休耕田や水田に渡来する。

ムナグロ *Pluvialis fulva* (Gmelin) [1355]

山麓の秦野市・伊勢原市・厚木市(目録Ⅲ)、愛川町(竹内, 2005)で記録されている。県内には、通過鳥として休耕田や水田に渡来する。

ダイゼン *Pluvialis squatarola* (Linnaeus) [1356]

山麓の厚木市(目録Ⅲ)で記録されている。県内には、通過鳥として休耕田や水田に渡来する。

Bイカルチドリ *Charadrius placidus* J.E.&G.R.Gray [1360]

留鳥として河原や水田に生息する。山北町の玄倉や中川、清川村の煤ヶ谷や宮ヶ瀬など、山麓の河川に生息し、繁殖も記録され

ている。宮ヶ瀬では、ダムの湛水後の繁殖は確認されていない（目録Ⅲ；目録Ⅳ；青木・藤井，2005）。

B コチドリ *Charadrius dubius* Scopoli [1361]

夏鳥として造成地や河川に渡来する。山麓の愛川町（竹内，2005），伊勢原市（平田，1994），厚木市（目録Ⅱ）では，繁殖が記録されている。ほかに山北町（頼ほか，2002），清川村煤ヶ谷・秦野市（目録Ⅱ；Ⅲ）で観察されている。

シロチドリ *Charadrius alexandrinus* Linnaeus [1369]

山麓の秦野市で1例（目録Ⅰ）が記録されている。県内では，留鳥として河川や海岸に生息する。

シギ科 Scolopacidae

オグロシギ *Limosa limosa* (Linnaeus) [1394]

山麓の厚木市・秦野市・伊勢原市（目録Ⅱ；目録Ⅲ）で観察されている。県内では，通過鳥として河川や休耕田に渡来する。

チュウシャクシギ *Numenius phaeopus* (Linnaeus) [1400]

山麓の秦野市・伊勢原市（目録Ⅲ）で観察されている。県内では，通過鳥として河川や田畑に渡来する。

ツルシギ *Tringa erythropus* (Pallas) [1407]

山麓の厚木市・秦野市（目録Ⅲ），伊勢原市上谷（1998.9.13 平田寛重）で観察されている。県内では，通過鳥として河川や休耕田に渡来する。

コアアシシギ *Tringa stagnatilis* (Bechstein) [1409]

山麓の厚木市・秦野市・伊勢原市（目録Ⅰ；目録Ⅲ）で観察されている。県内では，通過鳥として河川や休耕田に渡来する。

アオアシシギ *Tringa nebularia* (Gunnerus) [1410]

山麓の清川村煤ヶ谷・厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅰ；目録Ⅲ）の水辺で観察されている。県内では，通過鳥として河川や休耕田に渡来する。

クサシギ *Tringa ochropus* Linnaeus [1414]

冬鳥または通過鳥として，山麓の水辺に渡来することがある。清川村煤ヶ谷・愛川市・厚木市・伊勢原市・秦野市・山北（目録Ⅱ；目録Ⅲ）で記録されている。

タカブシギ *Tringa glareola* Linnaeus [1416]

通過鳥として，山麓の河川や休耕田に渡来する。愛川町（竹内，2005），厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅲ）で記録されている。

ソリハシシギ *Xenus cinereus* Guldenstadt [1418]

通過鳥として，山麓の河川や休耕田に渡来する。厚木市・伊勢原市（目録Ⅲ）で記録されている。

B イソシギ *Actitis hypoleucos* (Linnaeus) [1419]

留鳥として，山間の河川や山麓の休耕田等の水辺に生息する。清川村煤ヶ谷・厚木市・伊勢原市・山北町（目録Ⅳ）などに生息している。丹沢湖周辺や宮ヶ瀬付近でも観察されている。愛川町（竹内，2005），秦野市（目録Ⅰ）では，繁殖も記録されている。

キアシシギ *Heteroscelus brevipes* (Vieillot) [1421]

通過鳥として春秋の渡りの時期に山麓の水辺に渡来する。清川村・愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅲ；目録Ⅳ）の河川や休耕田等で記録されている。

キョウジョシギ *Arenaria interpres* (Linnaeus) [1425]

通過鳥として，春秋の渡りの時期に山麓の水辺に渡来する。愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅰ；目録Ⅲ）の河川や休耕田で記録されている。

ヤマシギ *Scolopax rusticola* Linnaeus [1430]

周辺部の山麓に冬鳥として渡来するが，夜行性のため，観察機会は少ない。宮ヶ瀬・秦野市・伊勢原市・厚木市（目録Ⅰ；目録Ⅳ），山北町（頼ほか，2002），松田町（自然環境保全センター傷病鳥記録）などで記録されている。

アオシギ *Gallinago solitaria* Hodgson [1437]

松田町寄中津川で2005.3.6に県内で初めて記録された（田村，2005）。県内では，稀な冬鳥として渡来する。

タシギ *Gallinago gallinago* (Linnaeus) [1445]

通過鳥または，冬鳥として湿地や河川等に渡来するが，山間への渡来は稀で，宮ヶ瀬（青木・藤井，2005）で記録されている。山麓では，愛川町（竹内，2005），伊勢原市・秦野市・厚木市（目録Ⅳ），山北町（頼ほか，2002）などで観察されている。

コオバシギ *Calidris canutus* (Linnaeus) [1457]

山麓の厚木市で1例記録（目録Ⅲ）があるに過ぎない。通過鳥

として海岸や干潟等に渡来するが，内陸部では稀である。

ミュビシギ *Calidris alba* (Pallas) [1459]

山麓の厚木市で1例記録（目録Ⅲ）があるに過ぎない。通過鳥として海岸や干潟等に渡来するが，内陸部では非常に稀である。

トウネン *Calidris ruficollis* (Pallas) [1462]

通過鳥として春秋に山麓部の河川や休耕田に渡来する。厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅲ；目録Ⅳ）で記録されている。

オジロトウネン *Calidris temminckii* (Leisler) [1464]

通過鳥として山麓の休耕田や河川に渡来するが稀である。厚木市で1例（目録Ⅱ）が記録されている。

ヒバリシギ *Calidris subminuta* (Middendorff) [1465]

通過鳥として山麓の休耕田に渡来する。厚木市・伊勢原市（目録Ⅲ）で記録されている。

アメリカウズラシギ *Calidris melanotos* (Vieillot) [1469]

通過鳥として山麓の休耕田に渡来する。1例が伊勢原市で記録されている（目録Ⅱ）。

ウズラシギ *Calidris acuminata* (Horsfield) [1470]

通過鳥として山麓の休耕田や河川に渡来する。厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅱ；目録Ⅲ）で記録されている。

ハマシギ *Calidris alpina* (Linnaeus) [1473]

通過鳥として山麓の河川や休耕田に渡来する。愛川町（竹内，2005），厚木市・秦野市（目録Ⅲ）で記録されている。

サルハマシギ *Calidris ferruginea* (Pontoppidan) [1474]

通過鳥として山麓の水田や河川に渡来するが，極めて稀である。秦野市で1例（目録Ⅲ）が記録されている。

エリマキシギ *Philomachus pugnax* (Linnaeus) [1479]

通過鳥として秋期に山麓の休耕田に渡来する。厚木市・伊勢原市（目録Ⅲ；目録Ⅳ），秦野市（多田・相原，1985）で記録されている。

セイタカシギ科 Recurvirostridae

セイタカシギ *Himantopus himantopus* (Linnaeus) [1292]

厚木市と伊勢原市（目録Ⅱ；目録Ⅲ）で記録がある。県内には，通過鳥として春秋の渡りの時期に海岸，河川や休耕田などに渡来する。

ヒレアシギ科 Phalaropodidae

アカエリヒレアシギ *Phalaropus lobatus* (Linnaeus) [1428]

山間および山麓では，落鳥個体が保護されることがほとんどである。山北町中川，丹沢湖・厚木市・伊勢原市（目録Ⅰ；目録Ⅳ），宮ヶ瀬（青木・藤井，2005），清川村煤ヶ谷・津久井町青根（自然環境保全センター傷病鳥記録）などで記録されている。県内では，通過鳥として春秋の渡りの時期に海岸や内陸部の休耕田等で観察されている。

ツバメチドリ科 Glareolidae

ツバメチドリ *Glareola maldivarum* Forster [1324]

秦野市と伊勢原市（目録Ⅰ；目録Ⅲ）で記録されている。県内には，通過鳥として春秋の渡りの時期に河川や休耕田などに渡来する。

カモメ科 Laridae

ウミネコ *Larus crassirostris* Vieillot [1499]

冬期，河川を遡上し，山麓付近に渡来することがある。山北町では，一年を通して見られることがある（頼ほか，2002）。ほかの地域では，伊勢原市（自然環境保全センター傷病鳥記録）で記録されているが稀である。

カモメ *Larus canus* Linnaeus [1502]

冬期，河川を遡上し，山麓付近に渡来するが稀である。秦野市で1例（秦野市立本町小学校，1981）記録されている。

セグロカモメ *Larus argentatus* Pontoppidan [1503]

冬期，河川を遡上し，山麓付近に渡来するが，山間の宮ヶ瀬でも2001.1.4に1例が記録されている（宮ヶ瀬ビジターセンター，2001）。山麓では，秦野市（目録Ⅲ），山北町で記録されている。山北町では，一年を通して記録されている（頼ほか，2002）。

オオセグロカモメ *Larus schistisagus* Stejneger [1509]

冬期，河川を遡上し，山麓部河川に渡来する。山北町で記録されているのみで，一年を通して記録されている（頼ほか，2002）。

ユリカモメ *Larus ridibundus* Linnaeus [1525]

冬期、河川を遡上し、山麓付近に渡来する。清川村煤ヶ谷・愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市・山北町（目録Ⅰ；目録Ⅲ）などで観察されている。極めて稀であるが山間の宮ヶ瀬でも1998.11.10に早戸川で観察された1例（青木・藤井, 2005）がある。

コアジサシ *Sterna albifrons* Pallas [1563]

夏鳥として、愛川町（竹内, 2005）、厚木市・伊勢原市・山北町（目録Ⅲ；目録Ⅳ）で記録されているが、繁殖は確認されていない。

ハト科 Columbidae

B *カワラバト (ドバト) *Columba livia* Gmelin [1623]

丹沢山地全域で留鳥として生息する。1992.6.28 丹沢山でレースバトが記録されているが、山中での記録は少なく、繁殖は記録されていない。山麓の厚木市、伊勢原市、秦野市では、建造物などで繁殖している（目録Ⅱ）。

B キジバト *Streptopelia orientalis* (Latham) [1678]

留鳥として、丹沢山地全域に生息する。愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市・清川村（目録Ⅰ；目録Ⅲ）で繁殖が記録されている。

B アオバト *Sphenurus sieboldii* (Temminck) [1827]

丹沢山地全域で夏鳥として渡来するが、一部は、冬でも見られる。冬見られる個体が、留鳥個体なのかよそから来た越冬個体なのかは不明である。丹沢山地に生息する個体が、大磯の照ヶ崎海岸に海水を飲みに行く行動が観察されている（山口ほか, 1997）。繁殖については、丹沢山堂平で2例（山口, 1994; こまたん, 2003）。大山で幼鳥保護1例（島村・森重, 1998）が報告されている。

インコ科 Psittacidae

*セキセイインコ *Melopsittacus undulatus* (Shaw) [2075]

オーストラリア原産の小型のインコで、輸入された飼育個体が何らかの理由で野外に逸出し、観察されている。山麓の清川村煤ヶ谷・宮ヶ瀬・厚木市・伊勢原市（目録Ⅰ；目録Ⅳ）などで記録されている。

*ホンセイインコ *Psittacula krameri* (Scopoli) [2114]

インド中南部及びスリランカ原産の大型のインコで、輸入された飼育個体が何らかの理由で野外に逸出した。亜種ワカケホンセイインコ *P. krameri manillensis* (Bechstein) が県内で観察されている。丹沢山城では山麓の伊勢原市（目録Ⅳ）で記録されているのみである。

カッコウ科 Cuculidae

B ジュウイチ *Cuculus fugax* Horsfield [2298]

夏鳥として、中腹から稜線にかけての森林に渡来する。コルリやオオルリの巣に托卵する。2例の繁殖が記録されている（目録Ⅰ；山口, 1994）。

セグロカッコウ *Cuculus micropterus* Gould [2301]

2005.5.21 から6.4にかけて檜洞丸周辺で県内で初めて記録された（山口ほか, 2006）。ソナグラムでの音声確認もされている。迷鳥として日本に渡来する。東日本での記録は少なく、貴重な記録である。

カッコウ *Cuculus canorus* Linnaeus [2302]

夏鳥または通過鳥として全域で記録されているが観察機会は多くない。主稜線部で繁殖期に鳴き声を聞くことが増えているが、環境の変化によるものと思われる。繁殖は、まだ確認されていない。

ツツドリ *Cuculus saturatus* Blyth [2303]

夏鳥として全域に普通に渡来する。繁殖は、センダイムシクイなどに托卵するが、まだ確認されていない。

B ホトトギス *Cuculus poliocephalus* Latham [2304]

夏鳥として全域に普通に渡来する。ウグイスへの托卵例が記録されている（伊藤, 1992）。

フクロウ科 Strigidae

コノハズク *Scops sunia* (Linnaeus) [2437]

夏鳥として奥地の森林に渡来するが、鳴き声が聞かれなくなった場所もある。2005.5.9, 2006.5.15 山北町で鳴き声が聞かれている（川手隆生氏私信）。繁殖は、まだ記録されていない。

B オオコノハズク *Otus lempiji* (Horsfield) [2449]

留鳥として生息するが、観察例は少ない。札掛と戸川で繁殖が確認されている（西川・山口, 1998; 山口, 2004）。宮ヶ瀬でも幼鳥

の保護例が記録されている（目録Ⅲ）。伊勢原・厚木・清川村でも記録されている（自然環境保全センター傷病鳥記録）。

B アオバズク *Ninox scutulata* (Raffles) [2514]

夏鳥として周辺の丘陵地の社寺林や森林に渡来する。丹沢湖周辺でも観察されている。愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅲ；目録Ⅳ）で繁殖が記録されている。

B フクロウ *Strix uralensis* Pallas [2548]

留鳥として山麓からブナ林まで広く生息する。繁殖は、清川村煤ヶ谷、愛川町、厚木市、伊勢原市、秦野市（自然環境保全センター傷病鳥記録）で記録されている。丹沢山・神ノ川乗越・ヤビツ峠（目録Ⅱ；目録Ⅲ；目録Ⅳ）での記録もある。

トラフズク *Asio otus* (Linnaeus) [2552]

観察例はほとんどなく、過去、唐沢林道で記録（東京農業大学自然保護研究会, 1981）されているだけである。ほかには、山麓の伊勢原市石田2006.2.11（平田寛重）、厚木市三田（目録Ⅲ）・上落合・岡田（自然環境保全センター傷病鳥記録）で記録されているに過ぎない。

コミミズク *Asio flammeus* (Pontoppidan) [2556]

冬鳥として河川の草原などに渡来するが、丹沢周辺では観察例は少なく、厚木市（目録Ⅳ）と秦野市葛葉（山口喜盛）で記録されている。

ヨタカ科 Caprimulgidae

B ヨタカ *Caprimulgus indicus* Latham [2632]

夏鳥として山間の低木林や林縁に渡来し、繁殖も確認されているが、観察記録は減少している（山口, 1994）。

アマツバメ科 Apodidae

ハリオアマツバメ *Hirundapus caudacuta* (Latham) [2713]

通過鳥として、春秋の渡りの時期に周辺部の山および丘陵地で観察されている。アマツバメの群れに混じっていることが多いが、数も観察機会も少ない。厚木市・伊勢原市・秦野市・塔ヶ岳・山北町（山口, 1991; 目録Ⅱ；目録Ⅲ）などで観察されている。

アマツバメ *Apus pacificus* (Latham) [2745]

通過鳥として春秋の渡りの時期に山間から山麓にかけて観察されている。繁殖期の観察例もあるが、行動範囲が広いため近隣の繁殖地から飛来するものと思われる。

B ヒメアマツバメ *Apus affinis* (Gray) [2746]

留鳥として山麓に生息し、厚木市・伊勢原市・秦野市で繁殖例がある（Ⅰ；Ⅳ）。大山・仏果山などでも記録されている（目録Ⅳ）。近年、観察機会は増加している。

カワセミ科 Alcedinidae

B ヤマセミ *Ceryle lugubris* (Temminck) [3137]

留鳥として山間および山麓の河川や丹沢湖と宮ヶ瀬湖に生息する。繁殖もしている（目録Ⅱ；Ⅲ）。

B カワセミ *Alcedo atthis* (Linnaeus) [3147]

留鳥として山麓の河川に生息し、繁殖もしている（目録Ⅲ）。山間にある札掛の養魚場、丹沢湖、宮ヶ瀬湖でも記録されている（目録Ⅲ；Ⅳ）。

B アカショウビン *Halcyon coromanda* (Latham) [3180]

夏鳥として渡来するが少ない。札掛で繁殖した記録がある（平田・山口, 1997）。今回の調査では、表丹沢林道と丹沢湖周辺で確認された。丹沢湖周辺ではほぼ例年渡来している。2005.6.18 秦野市堀山下にある県立秦野ビジターセンターの窓ガラスに1羽が衝突し、死亡した（青木, 2006）。2006.6.17 山北町神尾田にて建物のガラスに1羽が衝突し、一時保護された（県企業庁三保ダム事務所情報提供）。

ブッポウソウ科 Coraciidae

B ブッポウソウ *Eurystomus orientalis* (Linnaeus) [3277]

夏鳥として渡来するが、丹沢では1989年以降観察されていない（山口, 1991）。道志川流域では、1990年代初めまで繁殖していた（目録Ⅲ）。

キツツキ科 Picidae

アリスイ *Jynx torquilla* Linnaeus [3516]

冬鳥として、山麓の河原や草原などに渡来するが少ない。宮ヶ瀬（青木・藤井、2005）、愛川町、厚木市、秦野市（目録Ⅰ；Ⅲ）で記録されている。

B コゲラ *Dendrocopos kizuki* (Temminck) [3602]

留鳥として、山麓から稜線のブナ林まで普通に生息し、繁殖もしている（目録Ⅳ）。

B オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos* (Bechstein) [3613]

ブナ林に留鳥として生息するが、極めて少ない。今回の調査では、石棚山山頂付近、檜洞丸ツツジ新道付近、犬越路付近、堂平付近で確認された。過去に繁殖も記録されているが、最近では報告されていない（目録Ⅲ；平田・山口、1997）。秋冬期はやや低地でも観察される。

B アカゲラ *Dendrocopos major* (Linnaeus) [3619]

主に中腹から稜線のブナ林に留鳥として普通に生息する。繁殖もしている（平田・山口、1997）。冬期は山麓でも観察される。

B アオゲラ *Picus awokera* Temminck [3694]

山麓からブナ林に留鳥として普通に生息する。繁殖もしている（平田・山口、1997）。

ヤイロチョウ科 Pittidae

ヤイロチョウ *Pitta brachyura* (Linnaeus) [4800]

夏鳥として渡来するがきわめてまれで、ほとんどが声での記録である。宮ヶ瀬（青木・藤井、2005）、厚木市（小坂、1991）、2006.6.15 山北町八丁（頼ウメ子氏私信）で記録されている。

ヒバリ科 Alaudidae

B ヒバリ *Alauda arvensis* Linnaeus [4897]

宮ヶ瀬では夏鳥として記録されているが、繁殖は確認されていない。山麓の愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市（目録Ⅱ；目録Ⅲ）では、繁殖している（目録Ⅱ；目録Ⅲ）。県内では、低地の田園地帯に留鳥として生息するが、山間では、ほとんど見ることはない。

ツバメ科 Hirundinidae

ショウドウツバメ *Riparia riparia* (Linnaeus) [4928]

通過鳥として、秋期に伊勢原市で観察された1例（平田、1994）がある。

B ツバメ *Hirundo rustica* Linnaeus [4937]

山麓の集落に夏鳥として渡来し、繁殖する。繁殖期を過ぎると山域でも飛翔している姿が見られる。丹沢湖周辺（目録Ⅳ）、宮ヶ瀬湖周辺で繁殖している。

B コシアカツバメ *Hirundo daurica* Linnaeus [4954]

周辺の低地の集落に夏鳥として渡来するが少ない。山間では、秋の渡りの時期に稀に観察される。厚木市・伊勢原市・秦野市・松田町で繁殖が記録されている（目録Ⅰ；Ⅲ）。

B イワツバメ *Delichon urbica* (Linnaeus) [4967]

夏鳥として渡来し、山麓の丹沢湖周辺や宮ヶ瀬湖周辺で繁殖している（目録Ⅳ）。山域では、上空を飛翔する群れをよく見る。

セキレイ科 Motacillidae

B キセキレイ *Motacilla cinerea* Tunstall [4981]

山麓の河川から上流域にかけて留鳥として普通に生息し、繁殖もしている（平田・山口、1997）。

B ハクセキレイ *Motacilla alba* Linnaeus [4982]

都市部からの分布が拡大しており、以前は、冬鳥として渡来していたが、近年は山間の丹沢湖や宮ヶ瀬湖周辺では留鳥として生息しはじめている。山麓では、繁殖もしている（目録Ⅳ）。

B セグロセキレイ *Motacilla grandis* Sharpe [4983]

山麓の河川での留鳥としての記録がほとんどであったが、最近では、山間での観察も記録されるようになってきている。札掛では冬期に見られ、宮ヶ瀬や丹沢湖では留鳥として生息している。山麓では繁殖している（目録Ⅳ）。

B ビンズイ *Anthus hodgsoni* Richmond [5007]

夏鳥として、主に1000m以上の明るい林、低木林、草地、がれ場などに生息し、繁殖する（平田・山口、1997）。塔ノ岳から犬越路にかけての主稜部の崩壊地周辺に多く生息し、今回の調査では、崩壊地や立ち枯れの進行により分布域を広げる傾向がみられた。冬期は低地へ漂行するが、丹沢周辺では少ない。

タヒバリ *Anthus spinoletta* (Linnaeus) [5011]

冬鳥として山麓の農耕地や河川等に普通に渡来する。丹沢湖や宮ヶ瀬湖でも生息している。大野山山頂の観察例もある（目録Ⅲ）。

サンショウクイ科 Campephagidae

B サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* (Raffles) [5089]

山麓から中腹にかけての明るい林に夏鳥として渡来するが、減少している。今回の調査で大野山周辺と早戸川周辺に分布域のあることがわかり、餌運びが確認された。過去に伊勢原での繁殖記録がある（目録Ⅱ）。渡りの時期に、山北町中川（2000.5.15 山口喜盛）と鉄砲木の頭（2006.9 山口喜盛）で記録している。

ヒヨドリ科 Pycnonotidae

B ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* (Temminck) [5215]

主に山麓から中腹に留鳥として生息し、繁殖もしている（目録Ⅳ）。山地に生息する個体は、冬期は、暖地に移動するものがあるようである。

モズ科 Laniidae

チゴモズ *Lanius tigrinus* Drapiez [5301]

夏鳥として渡来するが、丹沢の山中では、過去に、札掛（柴田、1964）で記録されたことがある程度である。1997年に山麓の厚木で1例が記録されている（目録Ⅳ）。

アカモズ *Lanius cristatus* Linnaeus [5302]

過去に秦野市・山北町（目録Ⅱ）で記録されているが、この10年余りの間に観察例はない1987.8.17に厚木市小野で記録されている（竹内裕氏私信）。

B モズ *Lanius bucephalus* Temminck & Schlegel [5310]

山麓から稜線までの開けた環境に留鳥または漂鳥として普通に生息し、繁殖もしている（目録Ⅳ）。

レンジャク科 Bombycillidae

キレンジャク *Bombycilla garrulus* (Linnaeus) [5329]

山麓地域に冬から春にかけて通過鳥として稀に記録される。

ヒレンジャク *Bombycilla japonica* (Siebold) [5330]

山地も含め、冬から春にかけて通過鳥として観察されるが少ない。

カワガラス科 Cinclidae

B カワガラス *Cinclus pallasii* Temminck [5339]

山麓の河川から上流域にかけて留鳥として普通に生息し、繁殖もしている（目録Ⅳ）。

ミンサザイ科 Troglodytidae

B ミンサザイ *Troglodytes troglodytes* (Linnaeus) [5390]

沢沿いの林からブナ林まで広い範囲に生息し繁殖するが、冬期、高所のものは低地に移動する。

イワヒバリ科 Prunellinae

イワヒバリ *Prunella collaris* (Scopoli) [5434]

冬期、稜線付近の裸地や岩場に渡来するが少ない。蛭ヶ岳～塔ノ岳～三ノ塔の稜線で記録されている。中腹域の岩場に飛来することもある（玄倉川仏岩 2002.1.6・2003.11.14 山口喜盛）。

カヤクグリ *Prunella rubida* (Temminck & Schlegel) [5444]

中腹以下の低木林や林縁や藪に冬鳥として渡来するが少ない。

ツグミ科 Turdidae

B コマドリ *Erithacus akahige* (Temminck) [5477]

夏鳥として、主に標高800m以上のブナ林に渡来し、繁殖もしている（目録Ⅱ）。生息数は減少傾向にある。

ノゴマ *Luscinia calliope* (Pallas) [5482]

通過鳥として稀に記録される。過去に宮ヶ瀬（青木・藤井、2005）、2006.4.30 秦野市寺山青山荘付近（岡根 2006）、山北町玄倉（2000.11.3 山口喜盛）の3例があるほか、厚木市・秦野市・清川村煤ヶ谷（目録Ⅰ；目録Ⅱ；目録Ⅳ）でも記録されている。

B コルリ *Luscinia cyane* (Pallas) [5489]

夏鳥として、主に500～1400m位までのササ類や低木の密生した森林に渡来し、繁殖をしている。近年、スズタケの退行により、減

少が著しい。

B ルリビタキ *Tarsiger cyanurus* (Pallas) [5490]

主に 1400m 以上の下生えの少ないブナ林で繁殖する。2005.6.19 檜洞丸・つつじ新道上部で巣立ち雛が観察された（佐々木祥仁氏私信）。冬期は低地に漂行する。

ジョウビタキ *Phoenicurus aureoreus* (Pallas) [5545]

冬鳥として山麓から中腹にかけての低木林や林縁等に普通に渡来する。

ノビタキ *Saxicola torquata* (Linnaeus) [5593]

三国峠から高指山の山梨県側で繁殖しているため、その付近の神奈川県側でも観察される。普通は通過鳥として、春秋の渡りの時期に水田や河原等で観察されている。丹沢湖（目録Ⅲ）や宮ヶ瀬湖（青木・藤井, 2005）、松田町寄（山口, 1991）など丹沢山麓の各地で観察されている。

B イソヒヨドリ *Monticola solitarius* (Linnaeus) [5639]

宮ヶ瀬湖・丹沢湖（目録Ⅳ）では、冬期に観察されているが少ない。山北町玄倉、民家の屋根に 1 羽止まる（2006.12.20 山口喜盛）。山麓の厚木市・伊勢原市・山北町（目録Ⅰ；目録Ⅱ；目録Ⅳ）では、繁殖期にも観察例があり、秦野市（目録Ⅳ）と松田町では繁殖例がある（山口喜盛）。県内では、海岸部に留鳥として生息している。

B マミジロ *Zoothera sibirica* Pallas [5657]

夏鳥として主にブナ林に渡来するが少ない。繁殖も確認され（目録Ⅲ）、春秋の渡りの時期には、山麓の秦野市等で記録されたことがある（目録Ⅲ）。

B トラツグミ *Zoothera dauma* (Latham) [5672]

全域に生息し、中腹より上部のものは、冬期、山麓の雑木林や集落の周辺に漂行する。繁殖も確認されている（目録Ⅱ）。

B クロツグミ *Turdus cardis* Temminck [5712]

夏鳥として、主に標高 1000m より低い森林に渡来する。繁殖も確認されている（目録Ⅲ）。2000 年代に入り、減少傾向にある。

B アカハラ *Turdus chrysolais* Temminck [5718]

夏鳥としてブナ林に渡来し、主に 1000m より上部の森林に見られるが少ない。繁殖も確認されている（目録Ⅲ）。冬期は低地に漂行する。

アカコッコ *Turdus celaenops* Stejneger [5719]

山麓の 2005.4.8 に秦野市権現山で 1 例が観察されている（加藤・重永, 2006）。県内では、極めて稀な種であるが、伊豆諸島から飛来したと思われる個体が冬期に観察されている。県内では、真鶴、横須賀について 3 例目の記録となる。

シロハラ *Turdus pallidus* Gmelin [5723]

冬鳥として中腹から山麓の藪等に普通に渡来する。

マミチャジナイ *Turdus obscurus* Gmelin [5724]

通過鳥として、春秋の渡りの時期に渡来するが、稀である。山間では、日高・犬越路（目録Ⅱ；目録Ⅳ）、山北町高松（2006.4.30 太田仁氏私信）の 3 例ある。山麓では、秦野市（目録Ⅳ）、厚木市（竹内ほか, 2004）で記録されている。

ツグミ *Turdus naumanni* Temminck [5726]

全域に冬鳥として渡来するが、山麓の開けた環境のほうが多く見られる。

ノハラツグミ *Turdus pilaris* Linnaeus [5727]

1988.2.11 ~ 1988.3.4 伊勢原市日向に 1 羽が渡来した（坂本, 1989）。迷鳥として全国的に極めて稀に飛来する種である。

チメドリ科 Timaliidae

***カオグロガビチョウ** *Garrulax perspicillatus* (Gmelin) [5925]

中国南部・ベトナム原産のチメドリ科の野鳥で、輸入されたものが何らかの理由で逸出してしまい、野外で観察されるようになった。1996.12.3 秦野市沢沢で 1 例が記録されている（目録Ⅳ）。特定外来生物に指定されている。

B *ガビチョウ *Garrulax canorus* (Linnaeus) [5954]

東アジア・東南アジア原産のチメドリ科の野鳥で、輸入されたものが何らかの理由で逸出してしまい、野外で観察されるようになった。1995.9.5 相模原市津久井町鳥屋早戸川で雛を拾得されたのが、丹沢での初記録（自然環境保全センター傷病鳥記録）となった。それ以後、急速に分布を広げ、今や全域で観察されるようになった。繁殖も確認されている（藤井・四角目, 2005）。特定外来生物に

指定されている。

B *ソウシチョウ *Leiothrix lutea* (Scopoli) [5974]

東アジア・東南アジア原産のチメドリ科の野鳥で家禽として輸入された飼育個体が何らかの理由で逸出し、野外で観察されるようになった。1985.4.29 山北町小川谷（目録Ⅱ）が、丹沢での初記録になる。繁殖期は主に稜線付近のササのよく繁った落葉広葉樹林に生息し、冬期は山麓に漂行する。1997 年以降急激に分布を広げた。繁殖も確認されている（1997.5.26 犬越路, 目録Ⅳ）。特定外来生物に指定されている。

***チャエリカンムリチメドリ** *Yuhina flavicollis* Hodgson [6025]

中国南部・東南アジアを原産とするチメドリ科の野鳥で、厚木市長谷（神奈川県立自然保護センター野生動物課, 1998）で 1 例が記録されている。迷鳥として渡来したものか、飼育個体が逸出したものかについては、不明である。

ウグイス科 Sylviidae

B ヤブサメ *Urosphena squameiceps* (Swinhoe) [6079]

夏鳥として渡来し、主に標高 1000m 以下の湿った林の藪に生息する。繁殖もしている（目録Ⅲ）。

B ウグイス *Cettia diphone* (Kittlitz) [6081]

山麓から稜線のブナ林まで広く分布し、山地に生息するものは冬期は山麓に漂行する。繁殖もしている（目録Ⅲ）。

シマセンニューウ *Locustella ochotensis* (Middendorff) [6110]

丹沢山地では、山麓の秦野市鶴巻 2004.9.16（藤井, 2005）に渡来した 1 例がある。県内では、通過鳥として渡来するが、極めて稀である。

コヨシキリ *Acrocephalus bistrigiceps* Swinhoe [6118]

丹沢では、本種が生息するような草原環境がなく、山梨県境の三国峠から高指山付近にかけての草原地帯で見られる程度である。山麓の愛川町・厚木市・伊勢原市・清川村（目録Ⅰ；目録Ⅲ）では、春秋の渡りの時期に観察されている。

B オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus* (Linnaeus) [6127]

偶発的に札掛（柴田, 1964）や大杉山・丹沢湖（山口, 1991）、宮ヶ瀬湖（青木・藤井, 2005）などで数例記録されている。山麓の愛川町・伊勢原市・秦野市などで繁殖記録がある（目録Ⅰ；目録Ⅲ；目録Ⅳ）。山北町（目録Ⅳ）でも記録されている。

B メボソムシクイ *Phylloscopus borealis* (Blasius) [6194]

夏鳥として渡来し、主に 1400m 以上の下生えが少ないブナ林や低木林で繁殖する。主な分布域は、丹沢山から犬越路にかけての主稜である。山麓では、春秋の渡りの時期に観察されている。主に亜種メボソムシクイ *P. borealis xanthodryas* (Swinhoe) が渡来していると思われるが、春期には別亜種のコメボソムシクイ *P. borealis borealis* (Blasius) と考えられる個体が稜線で確認されている（佐々木祥仁氏私信）。

B エゾムシクイ *Phylloscopus borealoides* Portenko [6198]

夏鳥として、主に標高 800 ~ 1500m の落葉広葉樹林に渡来し繁殖する。山麓では、春秋の渡りの時期に観察されている。

B センダウムシクイ *Phylloscopus coronatus* (Temminck & Schlegel) [6200]

夏鳥として、主に標高 1000m 以下の落葉広葉樹林に渡来し繁殖する。個体数は減少している。山麓では、春秋の渡りの時期に観察されている。

B キウイタダキ *Regulus regulus* (Linnaeus) [6229]

主に亜高山帯のあるほかの山地から、冬期、中腹から山麓の針葉樹林に漂行する。少ないが繁殖期も記録されており、丹沢山堂平（山口, 1991）や伊勢原市大山などで繁殖例がある（目録Ⅱ）。

B セツカ *Cisticola juncidis* (Rafinesque) [6243]

過去に烏尾山（高野, 1971）、大野山（目録Ⅰ）で記録されている。近年では、山梨県境の鉄砲木の頭周辺（目録Ⅳ）、丹沢湖（目録Ⅱ）、宮ヶ瀬湖（青木・藤井, 2005）で記録されている。山麓の河川や農耕地では留鳥とし生息し、愛川町では繁殖が記録されている（目録Ⅲ）。

ヒタキ科 Muscicapidae

B キビタキ *Ficedula narcissina* (Temminck) [6538]

夏鳥として、山麓から 1300m 付近の自然林や人工林に渡来する。繁殖もしている（目録Ⅲ）。

ムギマキ *Ficedula mugimaki* (Temminck) [6539]

通過鳥として、秋の渡りの時期に山麓の厚木市で2例の記録がある(有吉, 1984; 野中, 1980)。また、冬期の札掛周辺でも2例(丹沢自然保護協会, 1976)が記録されているに過ぎない。

B オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* (Temminck) [6561]

夏鳥として沢沿いの林に普通に生息し繁殖する(2006.5.25 秦野市名古木, 山口喜盛)。渡来数は、近年減少傾向にある。

サメビタキ *Muscicapa sibirica* Gmelin [6588]

秋の渡りの時期に山麓の林で観察されるが稀である。厚木市飯山や秦野市権現山で数例が記録(目録IV)されている。

エゾビタキ *Muscicapa griseisticta* (SwinHoe) [6589]

秋の渡りの時期に観察されるが少ない。堂平(柴田, 1964)、大倉尾根(野中, 1973)、愛川町、大山、秦野市権現山、山北町(目録III; 目録IV)、宮ヶ瀬(青木・藤井, 2005)、煤ヶ谷・仏果山(目録I)などで記録されている。

B コサメビタキ *Muscicapa latirostris* Pallas [6590]

夏鳥として、明るい林に渡来するが極めて少ない。1995.7.29 清川村堂平で幼鳥連れが観察されている(目録III)が、最近の繁殖は報告されていない。渡りの時期は、愛川町・厚木市・伊勢原市・秦野市・丹沢湖周辺(目録II; 目録III; 目録IV)で記録されている。

カササギヒタキ科 Monarchidae

B サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* (Eyton) [6711]

夏鳥として、山麓の薄暗いスギ林や混交林に渡来する。山麓に広く分布し(目録I; 目録III; 目録IV)、愛川町や秦野市では繁殖している(竹内, 2005; 目録I)。今回は、主に山麓部で確認された。以前は、津久井町の黍殻山(目録I)や、山間の札掛(三浦, 1972)などでも観察されていたが、現在では観察されていない。

エナガ科 Aegithalidae

B エナガ *Aegithalos caudatus* (Linnaeus) [6873]

留鳥として山麓からブナ林にかけて生息する。繁殖もしている(目録IV)。

シジュウカラ科 Paridae

B コガラ *Parus montanus* Conrad von Baldenstein [6893]

留鳥として、主に標高700m以上の落葉広葉樹林に生息しているが、冬期は低地に漂行する個体もある。繁殖もしている(目録IV)。近年、ブナ林の衰退に伴い、個体数が減少傾向にある。

B ヒガラ *Parus ater* Linnaeus [6907]

留鳥として山麓からブナ林にかけて普通に生息している。繁殖もしている(目録III)。ブナ林、スギ・ヒノキ林、モミ林の優占種となっている。冬期、低地に漂行するが、残る個体もある。

B シジュウカラ *Parus major* Linnaeus [6923]

留鳥として山麓からブナ林にかけて普通に生息している。繁殖もしている(目録IV)。稜線のもの冬期、低地に漂行するが、残る個体もある。

B ヤマガラ *Parus varius* Temminck & Schlegel [6932]

留鳥として山麓からブナ林にかけて普通に生息している。繁殖もしている(目録IV)。稜線のもの冬期、低地に漂行するが、残る個体もある。

ゴジュウカラ科 Sittidae

B ゴジュウカラ *Sitta europaea* Linnaeus [6938]

留鳥として大木の多いブナ林に生息しているが少ない。繁殖もしている(目録III)。冬期は、低地に漂行する個体もある。

キバシリ科 Certhiidae

キバシリ *Certhia familiaris* Linnaeus [6963]

1994.3.20に秦野市養毛浅間山付近の針葉樹林帯で観察された1例がある(目録III)。国内では亜高山の針葉樹林に留鳥として生息し、一部、冬期に漂行する個体もある。県内では、ほかに箱根と大磯に記録がある。

メジロ科 Zosteropidae

B メジロ *Zosterops japonicus* Temminck & Schlegel [7155]

留鳥として、主に山麓から中腹にかけての森林に普通に生息して

いる。繁殖もしている(目録III; 2006.5.31 玄倉, 山口喜盛)。冬期は、低地で見られる機会が多くなる。

ホオジロ科 Emberizidae

B ホオジロ *Emberiza cioides* Brandt [7417]

留鳥として、山麓からブナ林までの林縁や草地等に生息し、繁殖する(山口, 1991)。稜線ものは冬期、低地に移動する。

B ホオアカ *Emberiza fucata* Pallas [7432]

山梨県境の三国峠から高指山にかけての草原に夏鳥として生息する。過去、山北町ユースンで6月に記録された例(柴田, 1964)がある。冬期は低地に漂行するが少ない。山麓では、愛川町の農耕地で繁殖した例がある(浅沼, 1993)。冬期に厚木市・伊勢原市・秦野市(目録I; 目録IV)で観察されている。

カシラダカ *Emberiza rustica* Pallas [7435]

冬鳥として渡来し、明るい林や林縁、草地、耕作地などに群れて生息する。

ミヤマホオジロ *Emberiza elegans* Temminck [7436]

冬鳥として山麓の丘陵地の明るい林や林縁のやぶに渡来するが少ない。札掛周辺や大倉尾根での記録もある(目録I; 目録II)。山麓では愛川町・厚木市・秦野市・丹沢湖・清川村煤ヶ谷(目録II; 目録III; 目録IV)、宮ヶ瀬などで記録されている。

* チャキンチョウ *Emberiza bruniceps* Brandt [7445]

中央アジア原産の鳥で、輸入した個体が、逸出または、放鳥等により見られるようになった。丹沢山麓では、厚木市で1例(目録III)が記録されている。

ノジコ *Emberiza sulphurata* Temminck & Schlegel [7446]

過去に札掛(平岩, 1943)と宮ヶ瀬(青木・藤井, 2005)の2例がある。分布域の狭い種で、県内では箱根仙石原付近に夏鳥として少数が渡来する。

アオジ *Emberiza spodocephala* Pallas [7447]

繁殖期は、山梨県境の高指山付近の低木林に生息し、姫次付近での記録(目録II)もある。冬期は山麓の低木林や藪で普通に見られる。

B クロジ *Emberiza variabilis* Temminck [7448]

繁殖期は、少数が檜洞丸から大室山、加入道山、菰釣山付近にかけての稜線に生息している。繁殖も確認されている(鈴木, 1995)。太平洋側の繁殖記録としては、分布上大きな意味を持つ。冬期は低地に漂行し、山麓の暗い林で見られる。

オオジュリン *Emberiza schoeniclus* (Linnaeus) [7450]

主に水辺の葦原に冬鳥として渡来する。山麓の愛川町(竹内, 2005)、厚木市・伊勢原市・秦野市(目録II; 目録IV)で記録されている。

アトリ科 Fringillidae

アトリ *Fringilla montifringilla* Linnaeus [8264]

冬鳥として、山麓から稜線の森林にかけて生息するが、年によって渡来数にばらつきがある。1993~94年にかけて、秦野市寺山の竹林では、2万羽を超える群れが囀りにしたことがあった(森田, 1994)。

B カワラヒワ *Carduelis sinica* (Linnaeus) [8301]

留鳥として山麓の林や河原、耕作地等に普通に生息している。繁殖もしている(目録III)。山間の林縁には、冬鳥として小群が渡来する。

マヒワ *Carduelis spinus* (Linnaeus) [8304]

冬鳥として山間の開けた森林に渡来する。ヤマハンノキやヤシヤブシの実を好むため、林道沿いでよく見かける。年によって群れの大小に差が見られる。

ベニヒワ *Carduelis flammea* (Linnaeus) [8324]

極めて稀な冬鳥として渡来する。過去に大山(上玉利, 1987)と仏果山(高橋, 1978)の2例が記録されている。

ハギマシコ *Leucosticte arctoa* (Pallas) [8332]

冬鳥として山頂や稜線の裸地、崩壊地や岩場などに渡来するが数は少ない。また、年による渡来状況にもむらがあり、安定していない。

ベニマシコ *Uragus sibiricus* (Pallas) [8338]

冬鳥として、中腹下部から山麓にかけての明るい林、林縁、沢沿いのやぶなどに渡来するが少ない。

オオマシコ *Carpodacus roseus* (Pallas) [8352]

冬鳥として飛来するが稀である。これまで稜線や山麓で記録されている(平田・山口, 1997)。最近では2007.2.7 桧洞丸で20羽が記録されている(山口喜盛)

イスカ *Loxia curvirostra* Linnaeus [8367]

極めて稀な冬鳥で、2002.3.30 焼山～柏原ノ頭で記録されたのが初記録となる(小林, 2002)。ほかに秦野市(目録Ⅱ)でも記録がある。

ナキイスカ *Loxia leucoptera* Gmelin [8368]

極めてまれな冬鳥で過去2例、山北町で記録されている(清棲, 1978)。

ウソ *Pyrrhula pyrrhula* (Linnaeus) [8374]

国内の亜高山から漂行して来る亜種ウソ *P. pyrrhula griseiventris* Lafresnaye と、シベリアから来る亜種アカウソ *P. pyrrhula rosacea* Seebohm が冬鳥として、山麓から稜線の林縁に渡来する。

シメ *Coccothraustes coccothraustes* (Linnaeus) [8375]

冬鳥として山麓の開けた林や耕作地周辺に渡来するが、春の移動の時期には、堂平のブナ林で確認されたこともある(2004.4.20 山口喜盛)。

コイカル *Coccothraustes migratorius* Hartert [8376]

冬鳥として、山麓の秦野市・厚木市(目録Ⅱ; 目録Ⅲ)で記録されているが稀である。

B イカル *Eophona personata* (Temminck & Schlegel) [8377]

留鳥として山麓から稜線までの落葉広葉樹林に生息し、繁殖もしている(山口, 1991)。

カエデチヨウ科 Estrildinae

***ベニスズメ *Amandava amandava* (Linnaeus) [8442]**

インドから東南アジアにかけて原産の鳥で、輸入した個体が、逸出または、放鳥等により見られるようになった。丹沢山麓では、伊勢原市・清川村(目録Ⅰ; 目録Ⅱ)で観察されている。

ハタオリドリ科 Ploceidae

B スズメ *Passer montanus* (Linnaeus) [8546]

集落周辺に留鳥として生息する。丹沢湖から中川、宮ヶ瀬湖周辺など山間の山麓でも普通に繁殖している。集落の近くでは、繁殖期は林内にも侵入する。過去には、丹沢山中の札掛でも記録がある(森田, 1971)。

***オウゴンチヨウ *Euplectes afer* (Gmelin) [8643]**

アフリカ原産の鳥で、輸入した個体が、逸出または、放鳥等により見られるようになった。丹沢山麓では、厚木市で1例(目録Ⅲ)が記録されている。

ムクドリ科 Sturnidae

コムクドリ *Sturnus philippensis* (Forster) [8737]

通過鳥として春秋の渡りの時期に山麓に渡来するが稀である。伊勢原市・厚木市・秦野市(目録Ⅱ; 目録Ⅳ)で記録されている。

B ムクドリ *Sturnus cineraceus* Temminck [8742]

留鳥として丹沢湖周辺、宮ヶ瀬湖周辺及び山麓の集落や農耕地に普通に生息する。繁殖もしている(目録Ⅳ)。

カラス科 Corvidae

B カケス *Garrulus glandarius* (Linnaeus) [8942]

留鳥として山麓から稜線にかけて生息する。繁殖もしている(目録Ⅱ)。冬期は、山麓でも漂行個体が観察される。秋の渡りの時期も秦野市権現山(目録Ⅳ)などで観察されている。

B オナガ *Cyanopica cyana* (Pallas) [8956]

留鳥として山麓の集落付近とその周辺の林に生息する。繁殖もしている(目録Ⅳ)。山間の記録は、ほとんどなく、過去に札掛周辺で2例(高野, 1972; 丹沢自然保護協会, 1973)が記録されている程度で、丹沢湖(目録Ⅱ)や宮ヶ瀬湖(青木・藤井, 2005)でも稀である。

ホシガラス *Nucifraga caryocatactes* (Linnaeus) [8976]

冬期に渡来したことがあるが稀である。1986年～1987年(山口, 1991)と1992年～1993年、1996年～1997年(山口, 1998)の冬期には、ブナ林で多数が確認されたことがあり、最近では秦野市権現山で、9月の渡りの時期に観察されている(平田・和田, 2006)。

コクマルガラス *Corvus dauuricus* Pallas [8981]

1998年に山麓の秦野市で観察された(浜口, 1999)。県内では、冬鳥として極めて稀に観察される。

ミヤマガラス *Corvus frugilegus* Linnaeus [8994]

山麓の伊勢原市上谷で観察されている(2003.2.8 平田寛重)。県内では、稀な冬鳥として農耕地や市街地で記録されているが、近年、分布の拡大の傾向が見られる。

B ハシボソガラス *Corvus corone* Linnaeus [9004]

留鳥として山麓の集落や農耕地等の開けた環境に生息する。繁殖もしている(平田・山口, 1997)。過去に札掛で2例ほど記録されている(平岩, 1943; 鈴木, 1956)。宮ヶ瀬湖・丹沢湖・仏果山・大野山(目録Ⅳ)などでも見られる。

B ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* Wagler [9005]

留鳥として山間から山麓の集落にかけて普通に生息する。繁殖もしている(目録Ⅱ)。山間で見られるカラスは、ほとんどが本種である。

文 献

青木雄司, 2005. 丹沢山麓で死亡したアカショウビンの胃内容物について. 神奈川自然誌資料, (27): 61-62

青木雄司・藤井 幹, 2005. 宮ヶ瀬湖周辺の鳥類目録. 神奈川自然誌資料, (26): 67-27.

有吉龍一, 1984. 例会報告(ムギマキ). 丹沢だより, (171): 3.

浅沼吉雄, 1993. ホオアカ(繁殖). はばたき, (257): 11.

藤井 幹, 2005. 神奈川県におけるシマセンニュウの記録. BINOS, 12: 63-65.

藤井 幹・四角目勝二, 2005. 神奈川県におけるガビチヨウの営巣記録. 神奈川自然誌資料, (26): 73-74.

秦野市立本町小学校, 1981. 秦野の野鳥. 165pp. 秦野市立本町小学校.

浜口哲一, 1999. 平塚市真田にコクマルガラス. はばたき, (321): 7.

葉山嘉一・荻原孝夫, 1998. 厚木市玉川で観察されたレンカク *Hydrophasianus chirurgus* について. 神奈川県立自然保護センター報告, (15): 21-24.

葉山嘉一, 2000. 神奈川県立自然保護センター周辺のサシバについて. 神奈川県野生生物研究会編, 神奈川県猛禽類レポート, pp.91-92. 夢工房, 神奈川.

平岩康熙, 1943. 丹沢山塊・札掛の鳥. 野鳥, 5(3): 21-23.

平田寛重, 1994. 伊勢原市鳥類目録. 自然と文化, (17): 77-125.

平田寛重・山口喜盛, 1997. 丹沢山地の鳥類. 神奈川県公園協会・丹沢大山自然環境総合調査団企画委員会編, 丹沢大山自然環境総合調査報告書 丹沢山地動植物目録, pp.6-13. 神奈川県環境部, 横浜.

平田寛重・和田佳史, 2006. 秦野市権現山でのホシガラスとマミチャジナイの記録. BINOS, 13: 71-74.

飯村 武・野口光昭・岡田比呂子, 1986. 自然保護センターの野外施設に飛来したアオサギの観察. 神奈川県立自然保護センター調査研究報告, (3): 19-22.

伊藤生武, 1992. 秦野市カレンダー 1992. 秦野市. (ホトギス)

伊藤恵美・森重京子, 2002. 神奈川県自然環境保全センターに傷病鳥として相次いで搬送された猛禽類. 神奈川県自然環境保全センター自然情報, (1): 41-44.

上玉利浩一, 1987. フィールドノート ベニヒワ♀3. はばたき, (182): 13.

神奈川県立自然保護センター野生動物課, 1998. 神奈川県下で観察された野生動物の目撃記録. 神奈川県立自然保護センター報告, (15): 25-28.

神奈川県自然環境保全センター, 2002. 神奈川県自然環境保全センターに保護された傷病鳥獣の記録(2000年, 2001年). 神奈川県自然環境保全センター自然情報, (1): 47-66.

神奈川県自然環境保全センター, 2003. 神奈川県自然環境保全センターに保護された傷病鳥獣の記録(2002). 神奈川県自然環境保全センター自然情報, (2): 65-74.

神奈川県野生生物研究会, 2000. 神奈川県猛禽類レポート. 219pp. 夢工房, 神奈川.

加藤ゆき・浜口哲一・平田寛重・石井 隆・秋山幸也, 2006. 鳥類. 高桑正敏・勝山輝男・木場英久編, 神奈川県レッドデータ

- 生物調査報告書 2006, pp.233-264. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 加藤ゆき・重永明生, 2006. 秦野市弘法山公園におけるアカコッコの観察記録. 神奈川自然誌資料, (27): 59-60.
- 清棲幸保, 1978. 増補改訂版日本鳥類大図鑑 I . 444+46+20pp. 講談社, 東京. (ナキイスカ)
- 小林弘子, 2002. 丹沢でイスカを見たよ. はばたき, (361): 15.
- こまたん, 2003. 丹沢山地堂平におけるアオバトの繁殖記録. BINOS, 10: 1-17.
- 小坂, 1991. 鳥だより. 京都支部報 (ソングポスト), (50): 19.
- 明治大学野鳥研究会, 1971. 山のニュース チョウゲンボウ. 丹沢だより, (14): 3.
- 三浦秀夫, 1972. 山のニュース サンコウチョウ. 丹沢だより, (33): 4.
- 宮ヶ瀬ビジターセンター, 2001. 宮ヶ瀬ビジターセンター発 2000 年丹沢周辺自然情報. 36pp.
- 水谷博, 1972. 山のニュース イヌワシ. 丹沢だより, (32):4.
- 森田利雄, 1971. 山のニュース スズメ. 丹沢だより, (20):2.
- 森田利雄, 1994. 秦野市寺山宝ヶ谷戸にアトりのねぐら. はばたき, (267): 4-5.
- 中村一恵・堀浩・大坂豊, 1983. コシジロウミツバメの大量内陸迷行について. 神奈川県立博物館研究報告, (14): 37-44.
- 日本鳥学会編, 2000. 日本鳥類目録改訂版第 6 版. 345pp. 日本鳥学会, 帯広
- 日本野鳥の会神奈川支部目録編集委員会編, 1986. 神奈川の鳥 1977-86 神奈川県鳥類目録 I . 218pp. 日本野鳥の会神奈川支部.
- 日本野鳥の会神奈川支部目録編集委員会編, 1991. 神奈川の鳥 1986-91 神奈川県鳥類目録 II . 440pp. 日本野鳥の会神奈川支部.
- 日本野鳥の会神奈川支部目録編集委員会編, 1996. 神奈川の鳥 1994-96 神奈川県鳥類目録 III . 308pp. 日本野鳥の会神奈川支部.
- 日本野鳥の会神奈川支部目録編集委員会, 2001. 神奈川県における鳥類の写真記録 6. BINOS, 8: 155-160. (クビワキンクロ)
- 日本野鳥の会神奈川支部目録編集委員会編, 2002. 20 世紀神奈川の鳥 神奈川県鳥類目録 IV . 340pp. 日本野鳥の会神奈川支部.
- 西川敦人・山口喜盛, 1998. 神奈川県におけるオオコノハズクの繁殖初記録. BINOS, 5: 57-62.
- 野中誠一, 1973. 山のニュース エゾビタキ. 丹沢だより, (48): 2.
- 野中誠一, 1980. 山のニュース (ムギマキ). 丹沢だより, (124): 2.
- 岡根武彦, 2006. 丹沢に飛来したノゴマ. BINOS, 13: 79-80.
- 頼ウメ子・西田トミ子・峯岸弘子・常磐学・西條恭子, 2002. 山北町の鳥類. 山北町編, 山北町の自然 山北町史別編, pp.57-93. 山北町.
- 坂本堅五, 1989. 伊勢原市日向に飛来したノハラツグミについて. 神奈川県立自然保護センター報告, (6): 51-54.
- 佐藤誠三, 2000. ハチクマの観察記録. 神奈川野生生物研究科い編, 神奈川猛禽類レポート, p.170. 夢工房, 神奈川.
- 柴田敏隆, 1964. 丹沢山塊の鳥類. 国立公園協会編, 丹沢大山学術調査報告書, pp.349-355. 神奈川県.
- 島村恵美・森重京子, 1998. 神奈川県立自然保護センターに保護されたアオバトの飼育記録. 神奈川県立自然保護センター報告, (15): 87-94.
- 諏訪哲夫, 1960. 県下でとれたオオワシについて. 横浜支部報, (28): 6.
- 鈴木秀男, 1956. 丹沢札掛探鳥. 横浜支部報, (6): 3-4. (ハンボンガラス)
- 鈴木茂也, 1995. 大室山でクロジが繁殖. はばたき, (282): 11.
- 多田友彦・相原宗由, 1985. 秦野の野鳥. 秦野市管理部市史編さん室編, 秦野市史自然調査報告書 2 秦野の自然 II , pp.104-129. 秦野市.
- 高橋良寿, 1978. 鳥信 丹沢山麓にベニヒワ. 神奈川支部報, (128): 7.
- 高野凱夫, 1971. 札掛の鳥とけもの 11 章やぶさめ. 丹沢だより, (21): 6-7. (セッカ)
- 高野凱夫, 1972. 山のニュース オナガ. 丹沢だより, (33): 5.
- 竹内裕, 2005. 愛川町の鳥類. 39pp. 自費出版.
- 竹内裕・青木雄司, 2004. 厚木市七沢・大山の鳥類. 厚木市教育委員会編, 厚木市七沢の動植物 I , pp.3-20. 厚木市教育委員会.
- 田村俊幸, 2005. 酒匂川上流中津川で観察されたアオシギ. BINOS, 12: 71-72.
- 丹沢自然保護協会, 1973. 山のニュース オナガ. 丹沢だより, (47): 4.
- 丹沢自然保護協会, 1976. 山のニュース ムギマキ. 丹沢だより, (77): 3.
- 東京農業大学自然保護研究会, 1981. 鳥信 トラフズク. 神奈川支部報, (148): 11.
- 矢田孝, 1982. 野鳥情報 ムラサキサギ. 野鳥, (429): 34.
- 山口喜盛, 1991. 丹沢山地鳥類目録. 自然と文化, (14): 83-110.
- 山口喜盛, 1992. 山のニュース コリンウズラ. 丹沢だより, (272): 11.
- 山口喜盛, 1994. 丹沢山地における鳥類の希少な繁殖例について. 神奈川自然誌資料, (15): 49-52.
- 山口喜盛, 1995. 厚木市荻野の鳥類. 丹沢動物調査団編, 厚木市荻野の動物 I , pp.19-31. 厚木市教育委員会.
- 山口喜盛, 1997. 翻弄される生き物. ふるさと宮ヶ瀬を語り継ぐ会編, ふるさと宮ヶ瀬, pp.99-101. 夢工房, 神奈川.
- 山口喜盛, 1998. 丹沢山地におけるホシガラスの越冬. BINOS, 5: 53-56.
- 山口喜盛・葉山嘉一・畑俊一・神戸宇孝・鈴木茂也・原一利, 2006. 神奈川県におけるセグロカッコウの初記録. 神奈川自然誌資料, (27): 63-64.
- 山口喜盛・石井隆・浜口哲一・青木雄司・白鳥勝洋・平田寛重・斉藤常實・西ヶ谷修一・岩佐昌夫・川手隆生・荒木尚登・藤井幹・望月和芳・佐藤誠三・四角目勝二・井上基, 1997. 鳥類. 神奈川県公園協会・丹沢大山自然環境総合調査団企画委員会編, 丹沢大山自然環境総合調査報告書, pp.565-591. 神奈川県環境部, 横浜.
- 山口喜盛・湯沢義信・湯沢八千代, 2004. ひとつの巣箱を利用した動物たち. リスとムササビ, (14): 8-10.
- 山階芳麿, 1986. 世界鳥類和名辞典. 1141pp. 大学書林.
- 吉井武, 1978. 鳥信 夏の水田にてヒクイナ. 神奈川支部報, (131): 7.
- 吉田嗣郎, 2003. ノスリの繁殖期 6 ヶ月間の観察記録ー特に子殺しと餌についてー. BINOS, 10: 65-74.
- 吉田嗣郎, 1999. オオタカの繁殖期 6 ヶ月間の観察記録. BINOS, 6: 39-48.